

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度第 3 回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業の採択事業及び補助額の決定について（公開）

(2) 追加募集について（公開）

3 開催日時

平成 30 年 6 月 13 日（水）午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分まで

4 開催場所

高土地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

2 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、金子和博、小林トシ子
中嶋真一、日向こずえ、細谷八重子、横川英男（欠席 3 名）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

- ・ 挨拶

【田中主事】

- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

- ・会議録の確認者：飯野正美委員

議題「(1) 地域活動支援事業の採択事業及び補助額の決定について」に入る。事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・資料1、資料2、資料3により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

それでは、第1位から第12位までの事業について採択事業及び補助額を協議し決定する。決定方法について正副会長から提案がある。先日事前協議を行った際、ヒアリングを行った結果を尊重し正副会長(案)を作成した。地域協議会委員の了承が得られるのであれば正副会長(案)を発表し、それをもとに地域協議会委員の意見を踏まえて修正した後、最終的な採択事業と補助金額を決定していきたいと考えている。この様な流れで進めてよいか。

(よし)

正副会長(案)について事務局に説明を求める。

【田中主事】

正副会長(案)について説明

【飯野会長】

今年度は採点結果一覧にもあるように、すべての提案事業が採択できるような結果となっている。今ほどの事務局の説明について質問はあるか。

(発言なし)

では、「採択すべき事業」について順番に審議してよいか。

【横川委員】

一括で良いのではないか。今年度は各委員が良い評価を付けており、正直驚いたくらいである。そのため、あれこれと審議・意見する必要がないと考える。

【飯野会長】

今ほど横川委員より、ここに採択するのではなく一括採択で良いとの意見があったが、他に意見はあるか。

(意見なし)

では、「士-1」から「士-12」までのすべての事業を採択してよいか。

(よし)

【金子委員】

「士-12 高士幼年野球活動支援事業」のグラウンドコート購入の件はどうなったのか。ユニフォームは個人に渡るものである。

【飯野会長】

採点順位は8位であるが、「大人用のグラウンドコート購入は支援事業の対象として妥当か」との意見が出ており、事業全体は問題ないが、内容の詳細を見た時に問題があるということか。

【金子委員】

これに関して、個人的には「附帯意見」を付けることで良いと考えているのだが、洗濯等は個人で行ったとしても管理は高士幼年野球でした方が良いと考える。もし、別の参加者が来た場合でも問題なくユニフォーム等を引き継げる形になっていることが望ましいのではないか。

【飯野会長】

高士区では以前より、子供用は問題ないが大人用のユニフォーム等について支援することは妥当か、協議してきた経緯がある。内容としては地域活動支援事業の提案内容の一部かもしれないが、今後の問題としても協議すべきである。今回、採択事業として認めるとなれば、附帯意見等の何らかの形で提案団体に伝えなければならないと考える。

【田中主事】

事務局から補足するが、採択する条件として「チームで管理し、個人所有にならないように引き継ぎをすること」と附帯意見を付けることは可能である。しかし、本日の地域協議会の流れとしては、附帯意見は最後のステップになる。先に採択すべき事業を決定し、次に補助額を決定する段階で一部問題があるため減額採択とするか、附帯意見を付けた上で全額採択とするかを決めてほしい。

【飯野会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

では「士-12」を採択してよいか。

(よし)

【金子委員】

重要な採択決定については、挙手で採決を取ってほしい。

【飯野会長】

それでは改めて順位の低いものから順番に、挙手で採択事業を決定していく。

【金子委員】

先ほど話したように一括採択するかを挙手で決定すればよい。

【飯野会長】

では、挙手で行う形でよいか。

(全員挙手)

「一括採択」に賛成する委員は挙手願う。

(全員挙手)

全員賛成のため、平成 30 年度地域活動支援事業のすべての提案事業を採択する。

次に、補助額の決定に入る。補助額については先ほどの金子委員からの意見も踏まえて採点結果の順位が低いものから順番に 1 件ずつ決定していく。

最初に 12 位「士-7 『男の料理教室』開催事業」から決定していく。申請額 93,000 円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

「士-7」は全額採択とする。

次に 11 位「士-2 高士地区お買い物ツアー事業」70,000 円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に 10 位「士-9 「地元野菜の魅力発見」旬の野菜クッキング事業」について、122,000 円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に 9 位「士-4 高士地域の歴史調査・集積事業」について、200,000 円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に 8 位「士-12 高士幼年野球活動支援事業」は先ほど金子委員より意見のあった提案事業である。何か意見はあるか。

【金子委員】

前回・前々回と採択するにあたり、各個人に配布される衣服等に関して地域協議会委員より様々な意見が出た。今回の提案内容のグラウンドコートの購入に関しても同じようなことが言える。しかし、今回の購入希望数は5着と少ないため、管理をしっかりとってもらえれば問題はないと考えている。そのため、他の地域協議会委員の意見を確認したい。

【横川委員】

グラウンドコート購入に関しては、ヒアリングの際に管理は高士幼年野球でしっかりと提案者より回答があったため、個人所有になるということはないと考えている。

【飯野会長】

他に意見はあるが。

(発言なし)

では、附帯意見を付けて470,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

附帯意見を付け、全額採択とする。

次に7位「士-3 川上善兵衛生誕150年記念事業」について、284,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に6位「士-1 つないでひろげたい岩の原小唄・八社五社事業」について、116,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に5位「士-6 高士地区の安全安心対策事業」について、393,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に4位「士-5 高齢者の見守り安否の確認・会食会・弁当配食事業」について、95,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に3位「士-10 ふるさと高士まつり事業」について、445,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

次に2位「士-11 「雪まつり（キャンドルイベント）開催による地域交流・地域活性化事業」について、1,852,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

最後に1位「士-8 川上善兵衛翁生誕150年記念 平成30年度高士地区・高士小学校体育大会事業」について、278,000円を全額採択することに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

これで全ての採択事業と補助金の交付額が決定した。

次に、附帯意見を付けるべきと考える事業がある委員からの意見を求める。

(発言なし)

なければ先ほどの「士-12 高士幼年野球活動支援事業」の附帯意見を付けることに賛成する委員は挙手願う。

(賛成多数)

【飯野正美委員】

確認であるが、高士スポーツ広場で高士幼年野球が使用しているグラウンドの管理は高士幼年野球で行うのか。

【青木副会長】

高士スポーツ広場全体の管理は、市から高士地区振興協議会が委託を受けており、実質的には高士地区体育協会が管理している。実際は、高士幼年野球がグラウンドを使用しているため、管理を行っている。

【飯野正美委員】

日に日に草が伸びており、野球が出来るのか気になる。

【小林委員】

野球の練習が終わるとみんなすぐに帰ってしまい、他の事は何もしていない。

【飯野正美委員】

確か2年前に地域活動支援事業で、車で引っ張るレーキを購入したが使用しているのか。

【青木副会長】

提案書の収支計画に燃料の記載があるため、高士幼年野球に確認したところ、過去にシニア野球チームが使用していたレーキがあるため、使用の際に燃料を使うとの話

であった。たまに幼年野球チームの練習を見に行っているが備品の実物を見たことが無い。

【小林委員】

高士小学校で預かっているのではないか。

【飯野会長】

それはグラウンドを平らにするための道具か。

【飯野正美委員】

そうである。車で引っ張り使用するため、かなり重いものである。

【青木副会長】

提案団体に確認をした方がよい。また現在、グラウンド以外の草刈り等を高士地区体育協会で主となり町内会が協力して行っているので、出来ることであればグラウンドは高士幼年野球が主体となって行ってもらいたい。

【飯野会長】

今ほど飯野正美委員から話が出た除草の件はヒアリングの際に再三再四、提案者に確認したところ、除草作業を行うとの回答であった。

【青木副会長】

昨年度までは作業を行ったことがない団体である。

【横川委員】

昨年度まで別のチームが使用していた物品を今年初めて使用するというのであれば高士地区振興協議会が温かい目で見守りながら厳しく助言をすれば良いと考える。今までは行っていなかったが、軌道に乗れば少しずつ出来てくると考える。

【青木副会長】

実際、10名前後のチームで保護者の人数も少なく、実働隊としては非常に力不足であるため、実際にどこまで出来るのかを確認しながら高士地区振興協議会で手助けをしていければと考えている。

【飯野会長】

実際、子供だけでは無理ではないかと思っている。

【横川委員】

ヒアリングで話をしている以上、本当に無理であれば相談等してくるはずだ。現在、どうするかを模索している状況と考えられるため、本当に何かあれば高士地区振興協

議会等に相談すると考える。

【飯野会長】

話が逸れたが、実際に高士地区振興協議会に相談が来た際には、高士区地域協議会としても相談に乗りたいと思う。

他に意見等はあるか。

(発言なし)

では、「士-12」に附帯意見を付けることで決定したが、文言については正副会長に一任することでよいか。

(よし)

以上で、議題「(1) 地域活動支援事業の採択事業及び補助額の決定について」を終了する。

次に、「(2) 追加募集について」、事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・資料4により説明

【飯野会長】

事務局の説明にもあったように、現在 482,000 円の残額があるため追加募集を実施するか採決を取る。追加募集の実施に賛成する委員は挙手願う。

(全員挙手)

では、追加募集を実施することで決定した。次に募集スケジュールについて、今ほど事務局からの説明にあったスケジュール(案)でよいか。

【横川委員】

事務局に確認であるが、2次募集の開始が9月となっているが、なぜそこまで先になってしまうのか。

【田中主事】

協議会だよりは全戸配布であり、広報じょうえつの発行日に合わせている。発行するにあたり、1か月前に町内会長へ配布を周知する必要がある、期間を見積もると最短でも8月1日の発行になる。しかし、8月1日に発行し、協議会だよりを配布するとなると、お盆期間を挟む形となり、提案書を作成するための見積もりが取れない可能性がある。また、7月15日発行の協議会だよりで今回の採択事業と追加募集のPRを掲載する予定であるが、8月1日から追加募集を開始する場合、PRからの期間が短

いため提案を検討している団体内部での話し合いも十分にできないと考えられる。そのため、早くから追加募集を始めても事業提案が出てこない可能性があり、提案を検討している団体内部で十分に検討してほしいため、9月1日に募集開始を告知する地域協議会だよりの発行を考えている。早く追加募集したいとの意見があれば対応可能である。また、8月15日は広報じょうえつの発行がないため、8月の発行日は1のみである。

【横川委員】

説明は理解できるが、スケジュール的に冬に向かっての募集となると、ある程度、提案事業が限られてくると考えられる。ただでさえ提案事業が少ないため、冬に向けてとなると募集をしても提案団体がいるのか心配である。

【田中主事】

そういった事情を考慮した上で、スケジュールを決定してほしい。

【飯野会長】

募集期間や事務局の説明に関して各自色々と意見や考えはあると思うが、地域協議会としては482,000円の残額があることを地域住民に周知し、メリット・デメリットを考慮した上で、各自明日からでも近隣住民や団体へ声掛けし、応募に繋げてほしいと考えている。今年度は本格的ではなくても、来年度の本格的な活動に向け、様子見的に利用することもありだと思える。出来るだけ多くの住民や団体から応募を募るために、地域協議会委員から積極的に声掛けをしてほしい。実際、地域協議会委員が声掛けをして提案したが、協議した結果、不採択となる場合もあるが、ぜひ追加募集への参加を呼び掛けてほしいと考える。

【飯野正美委員】

2次募集の告知については、募集前に回覧板等で行うのか。

【田中主事】

7月15日発行の協議会だよりに採択事業の掲載と共に、2次募集を実施する旨を掲載する予定である。実際の募集にあたっての申請方法等は9月1日発行の協議会だよりに記載する。

【青木副会長】

今年度は珍しく残額があったが、昨年度は配分額をかなりオーバーしたため、今年度の申請・提案内容を控えた団体が多かったのではないかと考えられる。今回採択決

定された提案団体から増額の申請はないとは思いますが、新たな提案事業の申請が上がって来ると予想している。

【飯野会長】

改めて、事務局からの説明にあった資料4のスケジュール（案）でよいか。

（よし）

では、追加募集は資料4のスケジュール（案）のとおり実施する。また、採択方針等については1次募集と同様としてよいか。

（よし）

追加募集の採択方針等は、1次募集と同様とする。以上で「(2) 追加募集について」を終了する。次に、次第4「その他」、次回の開催日について入る。次回の開催日を協議していく。

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：7月19日（木）午後6時30分から 高土地区公民館 中会議室

【田中主事】

2次募集についてだが、実施する以上は、多くの事業・団体からの参加をお願いしたいので、各地域協議会委員からPRをお願いする。

【飯野会長】

他に意見はあるか。

（意見なし）

【青木副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。